

べっかい 議会だより



60

匠（技能士）の技を受け継ぐ（ロウづけ作業）

特集

議会報告会開催する2
（全町4会場）

町政のここが聞きたい8
一般質問（中村・木嶋・西原・瀧川の4議員）

常任委員会活動報告～総務文教・福祉医療・産業建設～14

シリーズ 志を受け継ぐ 畠沢ほっけん株式会社 関口^{さとし}智司16



2012.2.1
北海道別海町議会

議会報告会を開催しました

11月22日・24日

情報の共有と町民参加を図り、協働によるまちづくりを進めることを目指し、新たな取り組みとして議会報告会を町内四会場にて開催しました。

各会場には正・副議長、議会運営委員長、各常任委員長と、四名の担当議員の計十名が出席しました。議会運営委員長から議会活性化の取り組みと、三常任委員会より活動報告があり、その後参加者からの質疑、提言を受けるかたちで進められました。町民の参加は全体で一〇八名でした。各会場で出された質問・回答を要約して掲載します。

中春別会場 二十名

質問

水産系副産物再資源化施設について、施設が手狭になってきていますが、ウロは中西別のバイオガスプラントで処理した方が効率的ではないですか。

答え

ホタテのウロを処理する上で、一番懸念されていることがカドミ

ウムの問題であり、現実的には難しいです。

また肥料化してもヒトデについては売れませんが、ウロはカドミウムに関する風評もあって販売が難しいです。

質問

東日本大震災のがれきについて、なぜ受け入れられないのですか。痛みを分かち合うべきではないでしょうか。

答え

最終処分場は放射性物質を除去できる施設ではなく、風評が心配されるので、受け入れはできません。

尾岱沼会場 七名

質問

野付半島にはサケ定置網漁の漁場があり、また多くの観光客が訪れる地域でもあります。津波などに対する防災対策はどうなっていますか。

答え

現在、国や道においても防災対策の見直しと点検を行うこととしており、道の指針を基に地域防災計画見直しを行います。

質問

別海消防尾岱沼分遣所の改修計画はどうなったのでしょうか。また長年救急車両の

配備についても要望しています。早期実現はできますか。

答え

別海消防分遣所については用地取得や改修費用の課題があります。救急車の配備と合わせて早期の実現に向けて行政に要望します。

質問

議員定数は、人口や面積から十八〜十六名が適切だと思いますが、どういった協議がされていますか。また、改選期直前ではなく、早い時期に結果を報告してほしいと考えます。

答え

特別委員会で十八名か十六名か議論した経過があり、十八名になりました。十六名の方がいいのではないかと、いう町民からの意見書が出されたこともあり

ます。

もう少し議論する時間が必要なので、任期の後半二年くらいの時期に検討していきたいと考えています。

別海会場 四五名

質問

郊楽苑について、今は民間が経営していますが、その業者に対してお金を注ぎ続ける必要がありますか。

答え

かかる費用はあくまで見通しで、議会に諮られた時点で慎重に議論していく必要があります。

また、運営の仕方について契約期間中は見る必要があります。

質問

学校の耐震化はいつまでに一〇〇%となりますか。

情報公開は議会の責務 協働によるまちづくりを目指して

答え
第六次総合計画では平成三十年度を目標としています。

質問
学校の避難所としての整備体制はどうなっていますか

答え
現在は備蓄品の用意がありません。整備は今後の検討課題です。

質問
中西別のバイオガスプラントは無償で国より譲り受けると聞いていました。なぜ買い取ることにしたのでしょうか。

答え
中西別のバイオガスプラントについては、当初無償で譲り受ける計画でしたが、無償譲渡は不適切との国の判断で、施設建物二千二

百万円、土地五百万円で買い取ることになっています。

西春別会場 三六名

質問
保育所の建て替えが進んでいますが、建て替えよりも時間外保育をお願いできませんか。時間外保育の場所がなければ、住民が出て行ってしまう、町がさびれてしまいます。

答え
保育所はそれぞれで利用時間が決まっています。時間の延長を議会が指示することはできませんが、委員会で協議していきます。

質問
特別養護老人ホームの民営化はどんな経緯で話が出たのでしょうか。また、経営状況が不安ですが、議会はどのように考えますか。

答え
民営化は町長の行政執行方針であり、老朽化した施設を新設する際に民営化したいとのこと。現在、町が行っている事業のうち民間でできることは民営化したい方針です。

具体的な話はこれからですが、町も支援しながら長く続けられるようにして、議会としても厳しくチェックします。

質問
住宅防音のエリア拡大について、町内会でも十年も前から要望しています。どうなっていますか。

答え
住宅防音エリアの確定に関しては、発射音の影響も加味されています。今後とも議会として一生懸命要望していきます。

《町や議会に対する提言や意見もありました》

- ・ 町内にシンボリック看板やモニメントの設置をしては
- ・ 別海町の人口を増やす方法の提案
- ・ 利用しやすい病院施設について
- ・ 病院の意識改革について
- ・ 郊楽苑の必要性
- ・ B型・C型肝炎患者の把握と対応について
- ・ 議会基本条例をつくるべき
- ・ 農家の後継者の中に引きこもりの現象が出て
- ・ いることを知ってほしい

された皆さんから寄せられた主な質問や意見・提言などです。今後より多くの方のお話を伺うことが出来るように、日程や会場等を工夫しながら来年度の開催を検討します。議会の活性化と町民が主体のまちづくりに、皆様の声を活かしていきたいと考えます。

以上が各会場で参加



今回の議会報告会の様子。町民の熱い思いを町政に活かしていきたい。(別海会場)

**12月
定例議会**
12月13日～16日開催

12月定例議会は、12月13日から4日間の会期で開かれました。審議のようすをお伝えします。

平成23年度 補正予算概要

補正額	予算総額
一般会計（3回目の補正）	
4910万円 減	148億1430万円
介護サービス事業特別会計（2回目の補正）	
190万円 増	9億5130万円
病院事業会計（1回目の補正）	
〈収益的支出〉	
1億1153万円 減	17億7805万円
〈資本的支出〉	
1165万円 増	12億4134万円
■一般会計の主な補正（歳出）	
○病院事業会計繰出金	5968万円増額
○道営草地整備事業（担い手中核型負担金）	1億812万円減額
○水産物産地市場衛生管理高度化施設整備事業（尾岱沼漁港改修事業負担金）	5571万円増額
○公営住宅等整備事業（西春別駅前団地）	1781万円減額
○根室北部消防事務組合負担金（無線デジタル化実施設計費用等）	2010万円増額
■介護サービス事業特別会計の主な補正（歳出）	
○施設暖房用燃料費	398万円増額
■病院事業会計の主な補正	
〈収益的支出〉	
○職員給与費（給料・期末勤勉手当等）	5561万円減額
○材料費（薬品・診療材料等）	3452万円減額
〈資本的支出〉	
○資産購入費（器具・備品等の購入）	3251万円増額

**条例を一部
改めました**

◆**地域会館及び運動広
場条例**

町内にある地域会館等施設の管理を自治（町内）会などに指定管理させることができるよう、改正が行なわれました。

また、西春別第2婦人ホームを廃止することとしました。

◆**福祉施設条例**

町内にある三つの福祉館の管理を自治（町内）会などに指定管理させることができるよう、改正が行なわれました。

**条例を制定
しました**

◆**別海町資源循環セン
ター設置及び管理に
関する条例**

バイオマス資源の循環・環境保全や、エネルギー自給率の向上などを目的として取得した施設（中西別バイオ

ガスプラント）の管理運営などに関する条例を制定しました。



町の所有となった資源循環センター（中西別バイオガスプラント）

委員の任命に
同意しました

◆別海町教育委員会委員の任命

任期満了に伴い、大塚保男さん（別海）の再任に同意しました。任期は、平成二十三年十二月二十日から平成二十七年十二月十九日までの四年間です。



再任された
大塚 保男さん

委員の推薦を
承認しました

◆人権擁護委員の推薦

任期満了に伴い、藤原優子さん（中春別）の再任を承認しました。任期は、平成二十四年四月一日から平成二十七年三月三十一日まで

での三年間です。



再任された
藤原 優子さん

国・道に意見書を
提出しました

◆環太平洋経済連携協定に反対する意見書

提出者 議会運営委員会
委員長 戸田 博義
野田首相は、事実上のTPP（環太平洋経済連携協定）交渉参加を表明しました。これまでも十分な情報提供がなされず、加えて北海道が示した影響額や当町が試算した基幹産業への影響額などをみると、当町にとって壊滅的な影響が出ることから、関税撤廃を原則とするTPP参加について決断しないよ

う強く要望する意見書が提出され、全員の賛成で可決されました。

◆看護師・介護職員等の大幅増員と夜勤改善で安全・安心の医療・介護、地域医療の拡充を求める意見書

提出者 福祉医療常任委員会
委員長 松原 政勝
日本の医療現場は、長時間・過密労働などにより労働環境は厳しさを増し、離職者も多く、深刻な人手不足になっています。このことから、労働条件を抜本的に改善し、看護師などの大幅増員を実現し、安全でゆきとどいた医療・看護・介護の拡充を図り、地域医療を守るための対策を講ずること

を求める意見書が提出され、全員の賛成で可決されました。

◆軽油引取税等に関する意見書

提出者 産業建設常任委員会
委員長 小林 敏之
農林漁業をとりまく情勢は依然として厳しく、税制面での政策が必要不可欠です。とりわけ漁業については、経営コストに占める燃油費のウエイトが極めて高く、燃油価



漁業の燃油費負担軽減策は不可欠

格の高騰によるコストの上昇が続いている状況にあります。当町の基幹産業の経営安定化を図るため、燃油税制に係る特別措置について存続することなどを求める意見書が提出され、全員の賛成で可決されました。

指定管理者の指定
を承認しました

平成二十四年三月三十一日をもって満了する施設の指定管理者の指定を承認しました。
■別海町マルチメディアア館
株式会社オーレンス
■別海町地域情報通信施設
株式会社オーレンス
株式会社オーレンス
指定期間は、いずれも平成二十七年三月三十一日までの三年間です。
■別海町ふれあいランド
株式会社別海町観光開



酪農研修牧場が指定管理者となった育成牧場

発公社

指定期間は、平成二十九
年三月三十一日まで
の五年間です。

新たに施設の指定管
理者の指定を承認しま
した。

■別海町営畜牛育成牧
場

有限会社別海町酪農研
修牧場

指定期間は、平成二
十四年四月一日から平
成二十七年三月三十一
日までの三年間です。



条例を一部
改めました

◆別海町職員の給与に
関する条例

国家公務員給与のマ
イナス〇・二三%の人
事院勧告を尊重し、職
員の給料を引き下げる
ため、給料表等を改正
したもので、審議の結
果、賛成多数で可決さ
れました。

町職員給与条例に対する討論

反対意見

(木嶋悦寛議員)

職員給与水準は地
域経済に多大な影響
があると考えます。

安定的に一定水準の
給与を得て家庭そし
て家を持ち、消費者
として地域経済を支
える中心的立場にあ
ります。

今回に限らず給与
を下げることは、地
域経済の冷え込み
拍車をかけるもので
す。

国家公務員の給与
に関し、労使間の合
意を無視し、勧告を
強行したものです。
客観的、科学的調

査に基づくデータに
対し、人事院は政策
的・政治的な要素を
加味し、極めて異例
な事態です。

このような中で人
事院勧告に従うこと
は、まことに遺憾で
す。

職員の給与は地域
の現状と労使間の協
議を尊重すべきとの
立場から反対します。

賛成意見

(佐藤初雄議員)

人事院勧告に基づ
く職員給与引き下げ
について、理事者の
説明のとおりです。

これまでも人事院
勧告を遵守して給与
の改定を行ってきた
経緯があり、また行
財政改革でコストの
削減や歳出抑制等自
助努力を進めていま
すが、財政運営は厳
しい状況です。

当町の一次産業を
はじめ経済情勢は大
変厳しいものです。

職員の皆様も、数
年連続の削減と厳し
い状況でありますか、
職員の給与を一定の
水準で保つため根拠
が必要であり、人事
院勧告を遵守して行
う本条例の改正はや
むを得ないものと判
断し、賛成します。

平成22年度 各会計決算を審査・認定する

12月定例議会では、決算審査特別委員会（丹羽勝夫委員長）の報告を受け討論・採決をし、一般会計・国民健康保険特別会計は賛成多数、ほか5特別会計・2公営企業会計は全会一致で認定しました。

平成22年度各会計決算

	歳入(収入)	歳出(支出)
一般会計	157億7013万円	152億3100万円
国民健康保険特別会計	23億8065万円	23億2466万円
老人保健特別会計	36万円	36万円
下水道事業特別会計	5億2389万円	5億2371万円
介護サービス事業特別会計	8億7256万円	8億7227万円
介護保険特別会計	8億4744万円	7億9441万円
後期高齢者医療特別会計	1億2363万円	1億2293万円
町立別海病院事業会計	16億6201万円	17億701万円
水道事業会計	7億803万円	4億9255万円

※企業会計については収益的収支の決算です

決算審査特別委員会の報告(概要)

四億九千万円の黒字決算、 財政調整基金残高十六億六千万円

一般会計は、主要な施策の事務事業を四十八億三千万円実施し、四億九千四百万の黒字決算となりました。財政調整基金の二十年三月末の残高は十

六億六千八百万円で、今回の剰余金から二億五千万円積み立てます。また、財政健全化判断比率などを見ても良好な状態であり、特に是正する事項はありません。

せん。しかし、地方財政計画が不透明の中にあつては、将来を見据えた財政展望のもとに、歳出の削減と各種事業の費用対効果の検証を行い、第六次別海町総合計画の着実な推進を図るとともに、町財政の健全化に一層努めることが肝要です。

また、地域活性化の観点から、既に施行された中小企業振興基本条例に規定する、中小企業振興のための指針の早期策定が望まれます。

購買力を他に流ささせないためにも、地域でお金が循環するようなシステムの構築が必要と見られます。

一般会計決算に対する討論

反対意見

(中村忠士議員)

①責任を放棄し、広域地方税滞納整理機構に問題を丸投げした。
②国営かんがい排水事業の十分な検証をしないまま、無批判に事業を推進している。
③地域の経済に打撃となる町職員の手当て削減を行なった。
以上の点を指摘して認定に反対します。

賛成意見

(佐藤初雄議員)

当町は自主財源が乏しく非常に窮屈な財政運営をしている中、実質収支で四億九千四百万円の黒字決算でした。事務事業について、基幹産業の振興、あるいは町民生活に直結した福祉や扶助など必要な施策が展開されており、住民の要望におおむね配慮した内容です。

国保会計に対する討論

反対意見

(中村忠士議員)

五年連続で加入者負担増が続く、納税が大変になっていきます。立場の弱い方々の医療と福祉の体制を確保することが、自治体に課せられた義務です。

賛成意見

(松原政勝議員)

六年ぶりの黒字決算となり、特定健診や病気に對する予防ケアなどの事業を行い、市町村が担う適切な運営という役割は果たしています。

町政の ここが聞きたい

12月定例議会では2日目(12月14日)に4議員が一般質問をしました。各議員の質問項目とその内容を要約して掲載します。詳しい議事録はホームページに掲載します。



保育園で楽しいときを過ごす子どもたち

■中村忠士 議員……………9

- 1 特養ホーム「民営化」の懸念について検討は
- 2 「子育て新システム」にどう対応しますか
- 3 放射線汚染について町独自の調査体制を

■木嶋悦寛 議員……………10

- 1 民営化の特養ホーム、町としてもサービスの質を担保すべきでは
- 2 観光戦略と地域フレンド化の推進を



特養ホームの建て替えを検討中



研修牧場で研鑽を積む研修生

■西原 浩 議員……………11

- 1 TPP対策本部の設置を
- 2 農業振興計画の中間見直しに町民の声を
- 3 研修牧場に酪農専門学校の機能を

■瀧川榮子 議員……………12

- 1 学校給食の放射性物質の検査体制を万全に



今日もおいしくいただきます(給食風景)

詳しくはホームページをご覧ください

中村議員 特養ホーム「民営化」の懸念について検討は

町長 懸念がなくなるよう協議していきます

質問

特別養護老人ホームの建て替えを「民設民営」の方向で検討すると町長は決めました。町の資料によると、新築工費は公設で十五億七千万円、民設で十二億六千万円。運営費については、公営で年間五億二千三百万円、民営で四億四千七百万円。この違いはどこからくるのですか。

山岸事業課技術長

建設費について、一



中村忠士議員

一般的に公共事業は分離分割発注という形になり、また国が定めた仕様に基づいて設計を進めるので、独自性が取り入れづらくコスト高になります。民設では工法・仕様が自由に選択でき、設計から施工まで一括して行えるのでコストの縮減が図られます。

田村福祉部長

運営費が一番多いのは人件費です。現在では七―一％ですが、道内の民営施設では五―八％です。

民間では、採用を含めてかなり新陳代謝も早く、また地方公務員のような給与体系になっていません。おのずか

らコストが安くなるということです。

質問

町が外部に委託して調査した資料には民設民営の場合について、「地元の経済効果の減少」「町民の入所機会の低下」「職員の処遇の低下、定着の低下」など懸念が述べられています。検討しましたか。

水沼町長

懸念がなるべくなくなるよう、受け入れ側と協議していきます。

質問

町長が民設民営の方角を決める前に町民の意見を聞く場をつくりましたか。

水沼町長

協議中で町民に示せるものはなく、説明の場は設けていません。

中村議員 「子育て新システム」にどう対応しますか

福祉部長 子育ては社会全体で支援するものと考えています

質問

政府は「子ども・子育て新システム」構想を発表しました。これに対し、二十一府県議会で、「反対」「慎重対応」を求める意見書が上がっています。

①市町村は保育の必要性を認定するだけに

なり、保護者は施設と直接契約しなければならなくなる。②応益負担が原則となり、所得による保育の格差が生じる…などの問題点が

中村議員 放射線汚染について町独自の調査体制を

町長 道・近隣市町村と連携して対応していきます

質問

放射線土壌汚染の調査で当町は「不検出」という結果でしたが、



放射能について学習する上西春小5年生

今後ずっと安心できるかというところではありません。町独自の測定が必要だと思えます。

水沼町長

道や近隣市町村と連携して対応していきま

指摘されています。

町は新システムをどのようにとらえ、対応しようとしていますか。

田村福祉部長

子育ては社会全体で支援するもの、すべて

の子育て家族に良質なサービスを提供したいと考えています。

今後国の動向を注意深く見ながら、必要に応じて現場の声を道や国に届けたいと思っています。

木嶋悦寛議員



木嶋議員
民営化の特養ホーム、町としても
サービスの質を担保すべきでは

町長 民間のノウハウを利用し、
 サービス向上を検討しています

質問
 特別養護老人ホームの民営化について、確実にサービスの向上が見込まれることが大切だと思えます。公的部分を廃止する町にも、そのサービスの質を担保する責任があるのではないですか。

先法人に移った場合、補償をどのようにしますか。
 町長 民間のノウハウを利用し、サービス向上を検討しています

水沼町長
 当然、民営になって、利用者の皆さんへのサービスが低下するようないことは考えていません。民間のノウハウを利用しながら、さらにサービスが向上する、そういう思いで検討しているところです。

水沼町長
 協議相手の社会福祉法人の計画が検討中というところで、皆さんへの具体的な回答ができません。
 説明会や意向調査など、意思疎通を図りながら希望に沿えるように、最大限の努力をします。

質問
 町長は、職員が移譲職員皆さんの今後の

水沼町長
 町長は、職員が移譲職員皆さんの今後の

質問
 町長は、職員が移譲職員皆さんの今後の

水沼町長
 町長は、職員が移譲職員皆さんの今後の

質問
 町長は、職員が移譲職員皆さんの今後の

水沼町長
 町長は、職員が移譲職員皆さんの今後の

水沼町長

特別養護老人ホームの建て替えにあたっては、施設の老朽化や、待機者が百名近い状況、団塊の世代の高齢化への対応や改善を図りま

す。
 また、ユニット化によるサービス向上と、町財政負担の軽減を目指します。
 未来のビジョンについては、医療との連携

観光戦略と地域ブランド化の推進を

木嶋議員

町長 食観光資源の創出と普及、官民一体で地域ブランド化の推進に取り組みます

水沼町長

当町の観光振興のためには、食観光日本一を目指す北海道の新しい観光地別海をPRコンセプトに掲げ、食観光にこだわり、食観光資源の創出と普及、これらを戦略として、官民一体となって地域ブランドの推進に積極的に取り組んでいきます。

質問

七月開催予定の新・ご当地グルメグランプリにどのように関わりますか。

質問

町長の地域ブランド化推進に対する見解をお聞かせください。

水沼町長

運営体制の構築や、出場チームおよび来場者に対する配慮、食観



別海ジャンボホタテバーガー優勝(新・ご当地グルメグランプリin北見)

強化、介護サービスの充実、介護予防の推進、見守り、配食サービスの確保や、権利擁護といった地域包括支援システムの構築を目指します。

光の町のPRなど、民間を中心とした実行委員会を組織していただき、自由な企画や積極的な情報発信により、より多くの集客と大会の成功を図っていただきたい。実行委員会と協議のうえ、町として必要な支援を行います。

西原議員

TPP対策本部の設置を

町長 時期を見定めて

設置を検討します

置します。

質問

TPPは農林漁業だけでなく、医療、食の安全、地域経済に対しても多大な影響が懸念されます。

当町独自の対策本部の設置を検討すべきです。

質問

十一月四日には、北海道TPP対策本部が設置されました。そこで情報の収集、影響の調査・分析、今後の対応を協議しています。

議会報告会でも設置を要望する意見が出されています。

水沼町長

各分野の関係機関、関係団体とも十分協議した中で、オール別海町で設置の必要性があるという判断がなされた時には、速やかに設

水沼町長

国から得られる情報が極めて乏しい状況です。町も最大限情報の収集をしている状況です。関係団体、経済団体などと協議をし、その協議が整えば、対策本部を設置します。



役場庁舎に新たな垂れ幕がかけられました

西原議員

農業振興計画の中間見直しに町民の声を

産業振興部長

見直し案を策定して

町民に配布します

質問

を進めていきます。

町は平成十八年別海町農業・農村振興計画を策定しました。それから五年たち、中間期の見直しのためにアンケート調査を実施しました。今後の計画をお聞きします。

質問

協議する場に、JAや普及所などの関係機関や農業者が参加できますか。

例えばチーズ作りなどの農業の六次産業化について町民レベルで話す場が必要です。

土井産業振興部長

今後、アンケート調査の結果を公表するとともに、農業団体と協議しながら見直し作業

土井産業振興部長

農政課で素案を作成し、別海町の担い手総

西原議員

研修牧場に酪農専門学校の機能を

町長 今後検討・研究します

の役割、それを発展させて酪農専門学校としての機能を充実させてはどうでしょうか。

水沼町長

各種体験、研修などができる場として幅広く活用したいと思いますが、新規就農に向けた研修、養成の場を中心に運営したいと思っています。

質問

各酪農家への研修生や従業員の研修機関として、半年程度の短期間のカリキュラムを組んで研修する仕組みを検討しては。

水沼町長

今後検討・研究したいと思います。

質問

酪農に関心のある人に対して、基礎的な知識、技術を与え、安心して就農できる素地を用意しておく必要があります。

研修牧場に酪農専門の基礎知識や実地の訓練をする短期教育機関

合対策協議会などと協議しながら検討を進めたいと考えています。

その素案をもとに、

各農業関係機関団体、

農業者の代表の方々と協議して決定していきたいと考えています。

西原 浩 議員



瀧川榮子議員



議員 瀧川
**学校給食の放射性物質の
検査体制を万全に**

教育長 情報提供し、子どもたちへの
リスクを取り除きます

値を上回る食品は出回っ
ていません。

質問
福島原発事故後、学
校給食センター運営委
員会では、給食食材に
含まれる可能性のある
放射性物質について検
討されましたか。

食材は地産地消の観
点から道内産を基本に
調達しており、運営委
員会での検討は行って
いません。

山口教育長

食品に含まれる放射
性物質の暫定規制値を
上回る食品等の販売は
規制されており、規制

質問

冬を迎え、道外から
の食材調達が増えます。
どのような対策を考え
ていますか。

山口教育長

葉物野菜が減少
することから、道
外から食材を調達
しています。出荷
停止措置が取られ
た地域の食材は使
用を控えます。
今後保護者の不
安が大きくなるこ

安全な給食を届けようと努力するセンター

山口教育長
微量な放射性物質の

震災後、緊急時の食
品放射能マニュアルが
出ました。元はWHO
基準で厳しいものでし
たが、緊急時のマニユ
アルは基準値を大きく
上回るもので、人体へ
の影響が無視される状
況にあると考えます。
放射能に対する感受
性が高い子どもへの安
全性は最優先されなけ
ればなりません。
汚染のない食べ物を
提供すべきと考えます
が。

とも予想され、学校、
幼稚園を通じ情報提供
していきます。

質問

リスクを取り除くため
には、食材では十分な
洗浄や加熱調理により
低減が期待できると原
子力環境整備センター
の報告があり、子ども
たちへのリスクを取り
除くために徹底を指導
しています。

質問

日本の食品の放射性
物質に対する規制値は
暫定で、今後変化する
可能性があるとはいえ、
高い数値です。

九月野田首相は「食
の安全確保、とりわけ
子どもに留意」とのべ
ています。十二月の
食品安全委員会情報で
も基準の変更はありま
せん。
厳しい基準を国に求
めて行く必要があると
考えますが。

山口教育長

厚生労働省において
暫定規制値の見直し
が行なわれています。

結果を踏まえ関係機
関と協議します。

質問

国の放射能測定機器
購入補助の対象は狭く、
対応を待てないと一歩
踏み出す自治体も出て
きています。

検査体制を確立する
必要があると考えます。

山口教育長

文部科学省において
放射性検査機器にかか
る学校給食整備事業の
交付要綱を制定中です。
町内で放射性測定N
PO法人化の話もあり
ます。

注視しながら、安全・
安心な学校給食の提供
のため、検討していき
たいと考えています。

一部事務組合・広域連合の議会報告

12月6日、中標津町議会議事場で、一部事務組合
および広域連合の定例議会が開催されました。

今回は、一般会計補正予算および平成22年度一般
会計歳入歳出決算認定について審議し、全会一致で
可決・認定されました。

なお、葬斎組合では組合長（中標津町長）より、
現在改築計画中の白樺斎場の概要について報告があ
りました。

平成22年度 一般会計歳出決算額

中標津町外2町葬斎組合	6247万円
根室北部消防事務組合	15億3675万円
根室北部廃棄物処理広域連合	7億4731万円

議会のうごき

栽培漁業の歴史と苦労を再認識

根室管内議員研修会 (10月1日 標津町)

標津町生涯学習センターあすばるに、四町から五十名余の議員が出席し、研修会が開催されました。

萬根室町村議会議長 会長より、現在の厳しい世情を含めての挨拶で開会。

続けて自治功労者表彰式が行われ、六名の

方が表彰されました。

その後、根室地区水産技術普及指導所・小林支所長、富安主査の講演をいただきました。

支所長からは、管内の栽培漁業の歴史とここまでといった経過には大変な苦労があったことなど、また富安氏からは、管内の特産

物であるサケのブランド向上についての方向

十月十二日、標津町生涯学習センターあすばるを中心会場として、平成二十三年度根

室地方森林・林業・林産業活性化推進議員連盟協議会(根室管内林活議連)の研修会がもたれました。

性と、現在の流通方法だけでなくいろいろ検討すべきなど、示唆に富んだ話が聞け感銘しました。

エゾシカ侵入防止柵の状況などを現地視察しました。

標津町の広葉樹植栽地では、シカの嗜好性の高いハルニレ、カツラ、ミズナラの七十%以上が被害を受けたそうです(平成19年)。

したが、大変有意義な研修でした。(森本議員)



エゾシカ侵入防止柵を見学する研修会参加者



管内議員研修会で開会挨拶をする萬 議長 会長

森林行政の実情を学ぶ

林活議連研修会(10月12日 標津町)

午前中は、標津町農林水産課の鈴木春彦林務担当係長から「河畔林造成とエゾシカ対策」について講義していただきました。

現地視察では、偶然にも若いエゾシカがくりワナにかかっており、その悲しそうな目が印象的でした。午後は、根室東部森林管理署職員の方に案内していただきながら格子状防風林の管理の

状況を視察しました。格子状防風林は人工林であり、手入れをせずに放置すると病気が発生したり枯れたりします。根室地方の格子状防風林は伐期を迎えており、間伐の方法などさまざまな工夫をしながら管理しているようです(中村議員)

総務文教・福祉医療・産業建設の3常任委員会の9月議会終了後の活動について概要をお知らせします。

総務文教 常任委員会

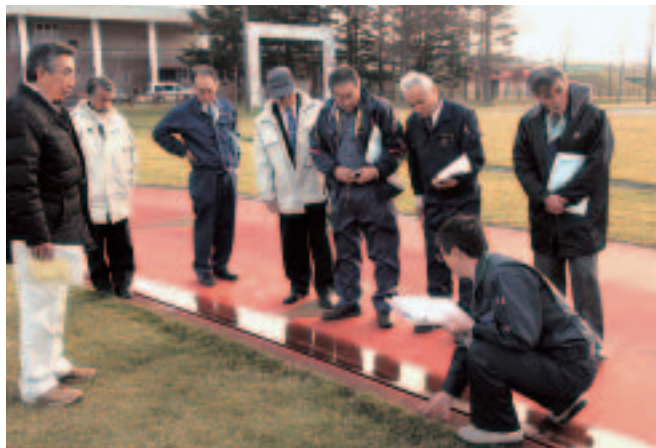
委員長 佐藤初雄
副委員長 丹羽勝夫
委員 安田輝男
委員 戸田憲悦
委員 今西和雄
委員 森本一夫

事務調査

- ① 補正予算（第三次）
 - ② 条例一部改正
 - ③ 公の施設に係る指定管理者の指定
- の三点について事務調査を行いました。

現地視察 教育委員会

- ① 西公民館
外部工事および身障者・高齢者用洋式トイレなどの改修工事が行われました。
年間一万七千人の利



全天候型トラックを視察する総務文教常任委員会

用があります。

- ② 全天候型トラック
磨耗、縁石の一部凍上、雨水溜り、ウレタンの一部剥離など改修に多額の予算が必要となることを確認しました。

財源確保について検討中とのことですが、年間五千人が利用し、実業団や小中高校生などの利用度は高く、できる限りの早期改修が望まれます。

- ③ 町営スケートリンク
河川敷で規制があるため、トイレの床面を一定の高さにする工事（ハイウォーター確保）の状況を確認しました。夏期間はスケート少

年団が陸上トレイニングで利用しており、一層のスケート振興を期待します。

- ④ 少年会館
築三十九年経過し、耐震改修に多額の予算が必要となるため、閉館が検討されています。
年間一万三千余人の利用がありますが、少年会館の代替施設として中央児童館などの活用をふくめ、今後検討することになっています。

福祉医療 常任委員会

委員長 松原政勝
副委員長 西原浩
委員 渡邊政吉
委員 山田信子
委員 瀧川榮子
委員 木嶋悦寛

新病院の視察

新病院の建物が完成したことに伴い、十一月二十九日、全議員により視察を行い、担当職員から説明を受けました。

主な内容は次のとおりです。

新病院は、現病院の一・五倍ほどの広さで、特に二階に集約した病棟は廊下も広く、病室も従来の六人部屋から一人部屋十五室、二人部屋十四室、四人部屋

十室と、比較的ゆとりとしてあります。

夜間、土・日、祝祭日の救急診療には専用の玄関、診療室や救急処置室、待合コーナーなどを設け、限定された場所で落ち着いて受診できます。

そのまま入院される場合も、一般患者とは別の動線で病棟に搬送できるよう工夫されています。

小児外来では、イン



産業建設常任委員会が視察した尾岱沼漁港改良工事

産業建設 常任委員会

委員長	小林敏之
副委員長	沓澤昌廣
委員	中村忠士
委員	戸田博義
委員	安部政博
委員	松壽孝雄

TPP(環太平洋経 済協定)に対して

国からの情報が入ってこない中、産業振興部に資料を集めていただき、委員会として時間をかけて論議してきました。

昨年十月二十七日には緊急の委員会を開催し、意見集約を行いました。

議会と行政の連携、生産団体などとの連携が必要であるとの認識から、議会側と行政との協議を要請すると同

フルエンザなどに感染した患者の待合室、診察室、点滴室を別に設置し、他の患者への感染防止策が図られています。

現在、老健施設を借りて行っているリハビリは、新たに百八十㎡のリハビリテーション室を完備し、現状の患者はもとより、今後増えてくる高齢者へのリハビリを積極的に、生活復帰へ向けた支援

をすることとしています。

なお、新病院は、オープン前に町民に一般公開する予定とのことです。

町民に親しまれる病院であるよう期待するところです。



病院事務長から新病院の説明を聞く議員

時に、委員会自ら行動を起こすことの重要性を確認し、十一月四日に農協中央会などが主催する「TPPを考える全道集会」に、全委員が参加しました。

尾岱沼漁港改良工事は、魚介類の品質を保持しブランド化を高めるため、水揚げ場に屋根をかけるなどの工事で、総事業費は五十九億六千万円です。

現地視察

十一月二日、西春別

水産系資源化施設は平成十六年から稼働、

年平均千四百万円の黒字を出しています。持ち込まれる副産物(ヒトデ、サケ残渣など)の量に対し、施設が手狭になってきているなどの問題点が調査の結果、明らかになりました。

当委員会はさらに、安愚楽(あぐら)問題、エゾシカ対策、中小企業振興基本条例に基づく取り組み状況などについても調査を行ってきました。

技能の継承が住民の命を守る

島沢ほっけん株式会社 関口 智司 さとし



地域の経済と産業を下支えする「島沢ほっけん」の皆さん（後列中央が関口さん）

設備の仕事を始めたばかりのころにはあまり意識していなかったのですが、先輩技能士から配管の技術を習うのと同時に、自分たちのやっている仕事の意義を教えてもらいました。

普段は床下や地面の中に隠れて見えない様々な配管ですが、飲料水を安全に家庭の蛇口まで届けたり、排水を確実に下水道まで流したりと、配管は大切な役割を担っています。縁の下の力持ちとして住民の生活を守り、命を守る、そんな素晴らしい仕事に従事できることに感謝し、今では自負を持って仕事に励んでいます。

町には設備に限らず多くの技能士の皆さんがいます。技能士の確かな技術とその継承は産業基盤を支え、地域活性化を進めます。私も一級配管技能士ですが、まだまだ多くのことを学んで、次の世代に技能とその精神を継承していきたいと考えます。商工青年部でも活動しています。地域のネットワークを大切に、これからも頑張ります。

編集後記



今年の干支の「辰」は、十二支の中で唯一架空の生き物とされる「龍」の年。

中国の古い注釈書には、「角は鹿に似たり、頭は駱駝らくたに似たり、項は蛇に似たり」などと列挙されています。

皆さんのお宅に届いた年賀状の中にも、これはワニなのか？トカゲか？と首をかき上げてしまいそうな手書きのイラストがあるのでは？

今年の干支は架空の生き物とされていますが、過去の日本経済は干支の中で辰年が一番経済回復の兆しがあると言われています。大いに期待したいです。

（松原委員）

議員になって、早いもので、もうすぐ一年を迎えることになりました。

議会広報特別委員となり、議会だよりの編集に携わってきましたが、議会の活動状況を十分に伝えられているのか・・・。

町民の目線で、分かりやすい議会だよりにするため、先輩議員と共に、知恵をしぼって頑張ります。

（森本委員）

つながり愛・ささえ愛・思い愛 震災からの復興をみんなの力で!!